

# Solan Primary School

4th grade news letter

# Venture

# Fourth

2023. Nov. 21

## 適切なゴール設定と温かい励まし

探究の時間、学活の時間、そして水泳の時間。  
最近の写真をダイジェストでお届けします。



いずれもメディアクリエイターの増田さんが撮ってくれている写真ですが、本当によくこのシーンをフィルムに収めてくれたと思うものばかりです。

何気なくタブレットをのぞき込んでいる時の表情。

学活でじゃんけんゲームをしている時の盛り上がり。

みんなの表情を見ていると、4月の頃とは大きく変わったなぁと実感します。

特に大きく変わったのは、言葉の使い方や体の使い方です。

シンプルに、教室で飛び交う言葉がとても丸く優しくなりました。

優しくなっただけでなく、「ドンマイ」「ナイスチャレンジ」と励ます言葉や、「やったじゃん」「おめでとう」と共感する言葉も増えました。

小さな変化に思うかもしれませんが、これは大きな成長です。

さらに、接触の仕方もとても上手になりました。

接触とは、友達と体が降れたりする場面でのことです。

ハイタッチだったり、サッカーの接触プレーだったり、百人一首の札を取り合ったり。

ものすごく荒々しかったり、相手にダメージが加わってしまっていたり、結構ヒヤヒヤする場面が以前は多かったものです。

でも、そうした接触場面での体の使い方も、とても優しくなってきました。

それは、教室での過ごし方を見ているとよくわかります。

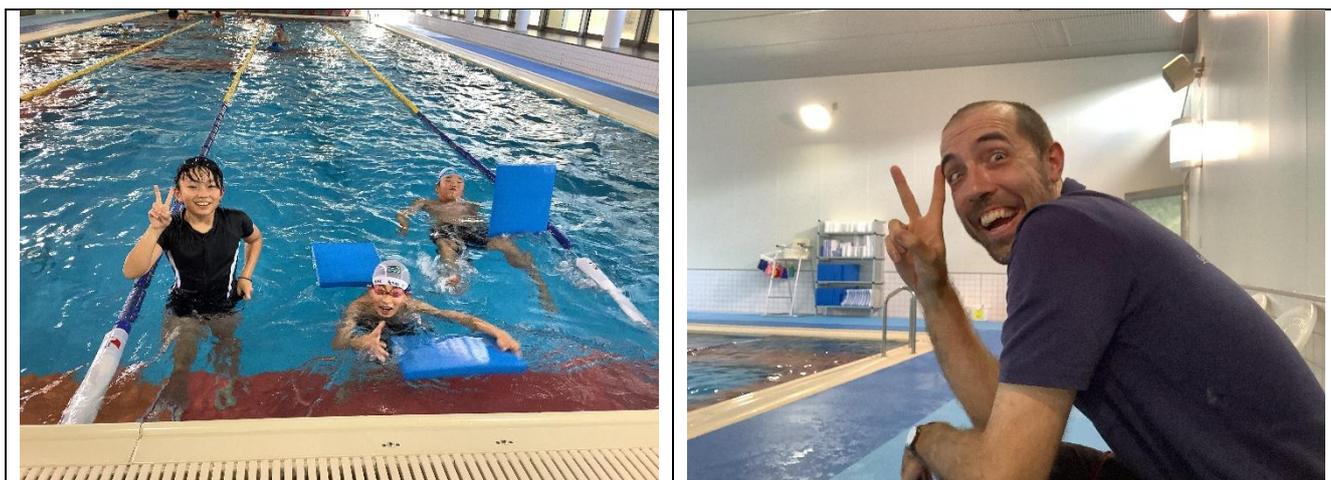
言葉が先か、体が先か、それはハッキリとはいえませんが、お互いが連動するようにして今の成長につながっていることは間違いありません。

それから、昨日は初めての水泳学習がありました。

泳力ごとにグループに分かれ、自分の力に合った課題に全員が取り組みました。

ちなみに写真を撮影してくれたのは、見学していた荒木くんです。





水泳でも計算でも漢字でもそうですが、「自分の力に合ったところ」で努力を積むことが肝心です。

ポイントは、「少し頑張れば手が届きそうなゴール」を設定すること。

水に顔をつけることすらできない時に、いきなり25mを泳ぎ切ることを目指すのは挑戦ではなく無謀と言えるでしょう。

まずは顔をつけるところから。

その次に頭のとっぺんまで潜ってみる。

それができたら力を抜いて浮かんでみる。

自分の力に合わせて適切にゴールを設定することで、「上達」の瞬間が連続的に起きるようになります。

そして、一つ一つのゴールに向けて近くで誰かが励ましてくれることも、上達や成長を実現する上で欠かせない要素です。

更に言うと、ゴールにたどり着いたときに、一緒にその成長を喜び合ってくれる仲間がいれば、ますますそのスピードは加速するでしょう。

スイミングの先生方は、適切なゴールを作ってくれた上に、何度も励まし、そして喜び続けてくれていました。

これで、伸びないわけがありません。

半日、ひたむきに泳ぎの練習をした子達は、爽やかな疲れと共に学校に帰ってきました。

水泳学習は、残り3回。

全ての学習は、「続けたこと」だけが「力」になります。

自分のゴールに向けて、練習や努力を積み重ねていきましょう。

☆↓読者ページはこちらから↓☆ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

